

問1 台風の進路予想図で、台風はんいの中心が進むと考えられる範囲を円で表したものを何といいますか。

問2 気象観測システムであるアメダスは、主にどのようなことを調べるために使われますか。

問3 台風が近づいて強い風や大雨になると、どのようなことが起こるおそれがありますか。

問4 日本各地に置かれていて、雨の様子などを自動で調べる気象観測システムを何といいますか。

問5 台風の目の部分では、天気や風の様子はどのようになっていることが多いですか。

問6 台風が近づいたときに、強い風ふうが吹いたり、短い時間に大雨あめが降ったりすることによって引き起こされる、人々の生活や自然への被害ひがいのことを何といいますか。

問7 「夕焼けが見えると、明日の天気は晴れになる」というように、昔からの言い伝えによって天気を予想することを何といいますか。

問8 宇宙うちゅうにある人工衛星さつえいから地球を撮影した、雲の様子を表す画像のことを何といいますか。

問9 空全体を見わたしたときに、雲が空をおおっている割合わりあいのことを何といいますか。

問10 「わた雲」とも呼ばれる積雲よは、どのような天気の日によく見られる雲ですか。

問11 空に雲がたくさんかかっている地域ちいきでは、どのような天気になることが考えられますか。

問12 南の方で発生した台風が、はじめは西の方へ動き、やがて北や東の方へと進んでいく、台風が通る道すじのことを何といいますか。

問13 空全体を10としたとき、天気が「晴れ」になるのは、雲の量はんいがどの範囲のときですか。

問14 台風の中心部分のことで、風も雨もやんでいることが多い場所を何といいますか。

問15 風が強くなり、雨の量が多くなるのは、台風がどのような動きをしているときですか。

問16 台風が近づいてくると、風や雨の様子はどのように変化しますか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 予報円	台風の中心が進む（動いてくる）と考えられる範囲 ^{はんい} を円で表したものを「予報円」といいます。
問2	答え 雨の様子	アメダスは、雨の様子などを観測して天気の変化を調べるためのシステムです。
問3	答え 強い風や大雨によって、災害が起こる。	台風による強い風や大雨は、私たちの暮らしに様々な災害をもたらす原因になります。
問4	答え アメダス	雨の様子などを自動で観測する気象観測システムのことをアメダスといいます。
問5	答え 風も雨もやんでいることが多い	台風の目は台風の中心部分にあり、そこでは風も雨もやんでいることが多いという特徴 ^{とくちょう} があります。
問6	答え 台風による災害	台風が近づくと、強い風や短い時間の大雨によって、人々の生活に大きな被害 ^{ひがい} が出ることもあり、これを台風による災害といえます。
問7	答え 天気のことわざ	昔からの言い伝えによって天気を予想する方法を「天気のことわざ」といいます。
問8	答え 人工衛星の雲画像	宇宙 ^{うちゅう} にある人工衛星から地球 ^{ちきゅう} を撮影して、雲の様子を表した画像のことを「人工衛星の雲画像」といいます。
問9	答え 雲の量	空全体に対して雲がどれだけの割合を占めているかを「雲の量 ^よ 」と呼びます。
問10	答え 晴れた日	積雲は、天気が良い晴れた日によく現れる特徴 ^{とくちょう} があります。
問11	答え くもりや雨	雲がかかっている地域 ^{ちいき} では、くもりや雨の天気が考えられます。
問12	答え 台風の進路	台風が通る道すじのことを「台風の進路」といいます。南で発生した台風は、西へ進んだあと、北や東へ進むことが多いです。
問13	答え 0から8のとき	空全体を10としたとき、雲の量が0から8のときが「晴れ」になります。9や10のときは「くもり」になります。
問14	答え 台風の目	台風の中心にある部分は「台風の目 ^よ 」と呼ばれ、風や雨がやんでいることが多いのが特徴 ^{とくちょう} です。
問15	答え 自分たちの場所に近づいてくるとき	台風が自分たちの場所に近づいてくるにつれて、風が強くなり、雨の量が多くなっていきます。
問16	答え 風が強くなり、雨の量が多くなる。	台風が近づいてくると、風が強くなり、雨の量が多くなるという特徴 ^{とくちょう} があります。